

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 26 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」 センター南校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		法定基準が事務所トイレなど含め 45 m ² であるところ、活動スペースのみで 45 m ² の広さを確保している。	
	②	職員の配置数は適切である。	6		保育士、心理士などの有資格者を法定基準以上に配置している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	6		壁に必要以上のイラストを貼らない、外が気にならないようにカーテンをするなどの配慮をしている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		毎日、塩素系消毒剤で清掃を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1	朝礼、引き継ぎノート等で情報を共有し、日々業務改善に努めている。	現場の負担にならない程度で個別の支援についてだけでも全員分の振り返りを定期的に行いたい。 ⇒ サービス担当者会議に時間を割き、より多くの職員が参加できるようにする。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		平成 30 年度より HP で公開。	平成 30 年 9 月開所のため、今回が初めての実施。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	平成 30 年度より HP で公開。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		内部監査として業務の改善につなげているが、外部評価は未実施。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		毎月事業所内研修を行い、勤続年数に応じた研修も実施している。	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		計画の内容を保護者に見てもらった上でさらに改善して作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		田中ビネーVとヴァインランド適応行動尺度を用意している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		毎月職員でガイドラインの読み合わせをしており、支援内容に活かしている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		計画を確認しながら、その子に合った支援を日々担当職員同士話し合っている。 計画がすぐ確認できるようにファイルのトップに貼っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		一人の子どもに複数の職員が関わり課題を組み立てている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		職員間で話し合ってプログラムを設定している。	集団プログラムは固定化しやすいので、個別課題も織り交ぜながら対処している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6		子どもに合わせて計画を作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		朝のミーティングでその日の分担等を周知確認している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		必ず振り返りを行い児発管からのチェックとアドバイスを受けている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		日々、支援記録に改善点や良かった点を挙げていく。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		およそ3ヶ月に1度モニタリングを実施している。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		主に担当職員と児発管が行い、必要に応じて他職員も参加するようにしている。	
	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		定期的にご挨拶などの訪問をしている。	まだ連携の実績はないが、希望があればいつでも対応できる体制を整える。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		2		重症心身障害児童は在籍していないが、必要な場合は連携が取れる体制を作っておく必要がある。重症心身障害児童対象の施設、医療機関と連絡を取れるようにしておく。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	2		重症心身障害児童は在籍していないが、必要な場合は連携が取れる体制を作っておく必要がある。重症心身障害児童対象の施設、医療機関と連絡を取れるようにしておく。
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1	適宜ご挨拶を行い、顔を知ってもらうように努めている。	移行支援の実績はないが、保護者の希望があれば連携が出来る体制を整えている。
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	個別支援計画などを学校と共有することで、卒園後の情報共有も出来るよう保護者に伝えている。	開所初年度のためまだ卒園の利用者はいないが、情報共有ができる体制はできている。
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		地域の会議に出席する、他事業所とも連携を呼び掛けるなどしている。	
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3		実績なし。保護者様によってニーズが分かれる事や、個人情報などデリケートな側面もあるので、慎重に検討していきたい。
	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	1	毎回出席している。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		送迎時、支援中の様子や家庭での様子を必ず共有している。	送迎時や支援中の休憩時間にお子様の様子をお伝えはしているが、改まった面談の時間は確保できていないことがあるので、必要があれば改善していく。

保護者への説明責任等	①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	2	支援フィードバックの際に、自宅で出来る課題やコツについて紹介している。	プログラムとしてのペアレントトレーニングという形式では実施していない。 ペアトレのニーズを把握するため、アンケートなどを実施したい。
	②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時、内容変更時に説明している。	
	③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		ガイドラインは毎月読み合わせをし、個別支援計画は保護者様の同意を得て作成している。	
	④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	送迎時やフィードバック時に家庭での様子を確認しつつ、まとまった時間が必要な場合は事業所内相談支援の案内をしている。	事業所内相談支援や家庭連携など、掲示等でより保護者に分かりやすく案内をしていく。
	⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		個人情報などデリケートな面もあり未実施。 他施設で保護者会が原因でトラブルになった事もあるので、慎重に検討したい。
	⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		職員間でも相談しやすい環境であり、迅速に対応できる体制ができている。	
	⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2	会報は無いが、イベントなどのお知らせの配布、周知はしている。 HP内のブログで毎月更新している。	
	⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6		個人情報の書類等は鍵付きの書庫に入れ、施錠を徹底している。	
	⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		全職員で情報を共有している。	

	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	見学会や相談会を企画し、近隣に周知している。	
非常時等の対応	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		各種マニュアルはいつでも見られるように全職員で共有しており、防災訓練や事業所内研修として毎月実施している。	
	④③	非常に災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		月に一度防災訓練を実施している。	
	④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		利用前の問い合わせ時に必ず確認している。 保護者と情報共有しやすい環境ができています。	
	④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	2	食事などは弁当を持参してもらい、アレルギーには十分配慮している。	配慮はしているが医師の指示書に基づいた対応ではないため、今後体制の整備が必要。
	④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		都度職員間で情報を共有している。 月ごとの事例集を作成し、毎月の会議でも周知している。	
	④⑦	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		事業所内研修、定例研修として、年に数回研修を実施。	
	④⑧	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		身体拘束に係る同意書を作成し、保護者に説明をした上で同意を得ている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 26 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」センター南校 保護者等数（児童数）17(18) 回収数 14 割合 82 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	1	0	2		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	0	0	2	専門性は他事業所に 比べかなりあると思う。	臨床心理士等、専門的な 資格のある職員が多く在籍 しているので、今後ご期待 に添えるようにしていきたい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された 環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事 業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等へ の配慮が適切になされているか	11	1	0	2		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空 間となっているか	13	0	1	0	外で使用したベビーカー で活動場所まで入ってい るので、清潔とは言い難 いかと思う。	毎日、塩素系消毒液(人体 に害がないもの)で清掃して いるが、ベビーカーは出入口 までにする。
適切 な支 援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析さ れた上で、児童発達支援計画が作成されている か	13	1	0	0	丁寧な対応で感心して います。	今後も児童と保護者のニー ズに沿った支援を提供してい きたい。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラ インの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発 達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支 援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支 援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具 体的な支援内容が設定されているか	12	1	0	1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われている か	14	0	0	0	都度、臨機応変に行わ れています。	今後も適切なアセスメントを もとに、児童の状況に適した 計画に沿った支援を行って いきたい。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されてい るか	11	1	2	0		その日のプログラムの意図や 目的等を保護者と共有し、 共通理解を図っていきたく い。

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2	4	3	民間療育で保育所などの交流は求めているので、不満はないです。	保護者様によってニーズが分かれる事や、個人情報などデリケートな側面もあるので、慎重に検討していきたい。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13	0	0	1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	8	3	2	1	家族支援プログラム（ペアトレ）の講座があればいい。	ペアトレと言っても様々な形があるので、まずはニーズを把握する。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	1	0	0	他事業所より丁寧なので連携が取りやすく安心。	今後も安心してご利用いただけるよう連携に努めていきたい。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1	0	2	もう少し面談や集団クラスの親の見学があれば嬉しい。	全てのクラスの見学・同席は歓迎しているが、周知が不足していた。改めて周知したい。 面談に関しても事業所内相談支援という制度があるので、これも改めて周知したい。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	3	5	5	保護者交流や保護者会は特に求めている değildir。 勉強会などがあれば嬉しい。	他施設で保護者会が原因でトラブルになった事もあるので、慎重に検討したい。 勉強会は得意とするところなので、ニーズを把握したうえで実施したい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	0	0	3	相談しやすくして下さっているため申し入れやすいため対応もかなり早いです。	今後も、安心して利用できる事業所作りに努めていきたい。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1	0	0		

	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	3	0	5		ブログは定期的に更新している。評価に関しては今回が初めて。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	12	0	0	2		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9	1	1	3		各種マニュアルを、より見やすい・わかりやすいところに設置する。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	2	0	8		毎月の防災訓練の周知や報告を、よりわかりやすい形式にする。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	13	1	0	0	「今日は勉強の日」と楽しみに出かけています。	今後も楽しんで通っていたらいいよう、成長につながる支援を継続していきたい。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	14	0	0	0	出来なかったことが出来るようになったこともあり、成長を感じます。もっと小さい頃から通わせればよかったと思っています。	暖かいお言葉に感謝しかありません。今後も、お子様の良さを伸ばし苦手を得意に変えられるよう、職員一同頑張りますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。